

国立天文台岡山天体物理観測所の広報普及活動この一年

戸田博之(国立天文台岡山天体物理観測所)

Annual report on Public outreach of OAO

TODA Hiroyuki (OAO/NAO)

Abstract

It reports on public outreach of this one year in Okayama Astrophysical Observatory.

岡山天体物理観測所は昭和35年(1960年)に東京大学東京天文台の附属施設として設置された。大型で汎用の188cm反射望遠鏡を主力装置とし、開所以来日本の光学天文観測の中心的な役割を担ってきている。岡山天体物理観測所は岡山県南西部の竹林寺山(標高372m)に位置し、四季を通じて晴天日数が多く、大気が安定しており、天体観測のための国内最適地のひとつとして知られている。

主な広報普及活動

報道関係者向け

- ・ 188cm鏡の蒸着作業(メッキ)の公開
2006年6月6日 11社来所 2007年6月12日 11社来所
- ・ 取材等の対応 2006年度 約50件

一般向け

- ・ 特別公開 2006年8月26日開催 参加者809人
岡山天文博物館と共同開催
共催:浅口市教育委員会 後援:矢掛町教育委員会(2006年より)
- ・ 特別観望会(定員100名) 2006年11月3日開催 111件367名応募
2007年3月17日開催 130件370名応募
岡山天文博物館と共同開催
- ・ 観測所見学会
学校・子ども会・科学館天文台等の友の会など諸団体を受け入れ。188cm望遠鏡ドーム内、天文博物館の見学を行っている。
2006年度 高校3 中学校2 小学校5 友の会1 他1
観測所が所在する浅口市と矢掛町の小学校4年生を対象に貸切バスの費用などを観測所が負担する招待見学会を実施している。
2006年度3校 実施。

今後の課題

国立天文台天文情報センターの協力を受けながら、観測所が所在する地域への広報普及活動を積極的に行っている。観測所に隣接する天文博物館との協力は無くてはならないものであり、その運営を行っている浅口市教育委員会との関係も良好に保たれている。しかし、観測所が隣接するもう一つの自治体である矢掛町からの観測所への見学団体がなく、町民の観測所への関心も薄く感じられる。広報手段の改善を検討している。